

## 平成17年度研究ステーション研究成果報告書

1. 研究ステーション名：バーチャルメディアクリエーション研究ステーション  
代表者名：渡辺 成良

2. 平成17年度の研究の特筆すべき成果

- a. マルチメディア教育用スタジオシステムの教育利用

2005年3月1日にオープンしたスタジオシステムを人間コミュニケーション学科の昼・夜間コース3年後学期人間コミュニケーション学実験テーマに利用するため、実験計画書とTA指導書を作成した。テーマは、予め2DCGで制作した画像を背景にして、15秒の本学紹介ビデオを制作させる。

- b. 情報通信研究機構との共同研究

高度情報通信基盤を利用したe-Learning環境における遠隔教育に関する共同研究に基づき、本学交際交流協定校である南太平洋大学との間で、コンピューティングサイエンス大学院正規授業CS491を2005年2月からの学期、CS492を8月からの学期に提供した。CS491は知的システム、CS492は情報ネットワークとセキュリティで、英語教材を作成し、本学の講師はCS491が渡辺成良、CS492が渡辺、吉浦裕、鈴木和幸であった。昨年度は衛星通信回線を利用したが、今年度からARRNETが北米と豪州間に海底ケーブルで開設されたので、これを利用した。

3. 平成17年度の研究成果の公表実績（主催した研究会、研究成果の発信状況等）

- a. 人間コミュニケーション学実験

人間コミュニケーション学科昼間コース53名、夜間主コース33名が実験を行った。優秀作品は学科ホームページで閲覧可能にした。

- b. 南太平洋大学遠隔授業

CS491の履修学生は27名、CS492の履修学生は7名であった。CS492履修者が少ない原因は授業案内の広報が遅れたことによる。CS491と16年度のCS493では、社会人の大学院学生が多いことから、新聞広報を行っていた。なお、18年度については、大学間で授業提供の覚書が交換される必要がある。

#### 4. 外部資金の獲得状況

- a. 人間コミュニケーション学実験の消耗品費及びTA経費は人間コミュニケーション学科が支払った。
- b. 遠隔講義のIP回線費や運用費用は情報通信研究機構との共同研究により、負担する必要がなかった。
- c. 講師謝金については、16年度と同様の支払いを南太平洋大学に要求している。

#### 5. 今後の研究発展（外部への発信、外部資金獲得計画を含む）

- a. スタジオシステムの利用については、ジェイコム東京、東京MXテレビ等からビデオ制作・編集の申し込みがあるが、使用料金の計算と使用料金の受取りについて学内の明確な基準がないとのことで、総務課財務係や管理係と協議している。

#### 6. 代表的なピアレビュー論文発表、学会プレナリ、招待講演発表、特許出願、受賞等

1. Tomomi Takashina, Bi Zhenbo, Damba Ariuna, Zhi Guilan, Kazuhide Tanaka, Hiroki Sayama, Shigeyoshi Watanabe. MASSE: Environment supporting for simulation and analysis of multiagent systems. Proceedings of the 2005 International Symposium on Collaborative Technologies and Systems (CTS 2005)
2. 柏木 肇、渡辺 成良：教育情報コラボレーションにおける教材開発事例～Perl編～、教育情報システム学会 30 周年記念全国大会講演論文集、pp. 69-70 (2005)
3. 神田 奈美、渡辺 成良：CSCL における学習者のメタ認知を考慮した役割配分、教育情報システム学会 30 周年記念全国大会講演論文集、pp. 499-500 (2005)
4. Shigeyoshi Watanabe, Masahisa Mabo Suzuki, Maki Kato, Fujinobu Takahashi, Hiroshi Kuroiwa and Kiyoshi Igarashi. Hands-on Distance Education in International Learning Network, The 2nd Joint Workshop of Cognition and Learning through Media-Communication for Advanced e-Learning (2005)
5. Zuoliang Chen and Shigeyoshi Watanabe. An Instance Structure Design of Virtual Elearning Community, IADIS International Conference CELDA 2005, Porto, Portugal pp. 387-390 (2005)